

# 役員等報酬規程

社会福祉法人きたはりま福祉会



## 社会福祉法人きたはりま福社会 役員等報酬規程

### (目的)

第1条 この規程は、社会福祉法人きたはりま福社会（以下「当法人」という。）の定款第九条及び第二四条の規定に基づき、役員（理事及び監事）及び評議員（以下「役員等」という。）の報酬等について定めることを目的とする。

### (報酬等の支給)

第2条 役員等には、勤務形態に応じて、次のとおり報酬等を支給する。

- (1) 常勤役員（常勤役員とは、当法人を主たる勤務場所とする者をいう。）については、報酬を支給する。
- (2) 非常勤役員等については、業務に応じた報酬を支給する。
- 2 前項の規定に関わらず、役員等から報酬等を辞退する旨の申出があった場合には報酬等を支給しない。
- 3 当法人の理事に対する報酬等の支給額は、各年度の総額が19,500万円を超えない範囲とする。
- 4 当法人の監事に対する報酬等の支給額は、各年度の総額が50万円を超えない範囲とする。

### (常勤役員の報酬等の算定方法)

第3条 常勤役員に対する報酬等の額は、次の各号による報酬等の区分に応じて定めるものとする。

- (1) 報酬については、別表1に定める額
- (2) 通勤手当については、職員給与規程第25条の規定に準ずる額

### (非常勤役員等の報酬等の算定方法)

第4条 非常勤役員等に対する報酬等の額は、次の各号による報酬等の区分に応じて定めるものとする。

- (1) 報酬については、別表2に定める額
- (2) 非常勤役員等が職務のために出張をしたときは、旅費規程に基づき、旅費（交通費、宿泊料）を支給する。

### (当法人職員給与との併給)

第5条 当法人の職員を兼務し、職員給与を支給している役員に対しては、本規程に基づく役員報酬等は支給しないものとする。

### (支給の方法)

第6条 常勤役員に対する報酬等の支給時期は、次のとおりとする。

- (1) 報酬については、毎月10日とする。ただし、その日が休日又は祝祭日にあたるときは、その前日に支払うものとする。

- 2 非常勤役員等に対する報酬は、当該会議に出席した都度、支給する。
- 3 報酬等の支払いは、現金支給又は銀行振込みとする。
- 4 報酬等は、法令の定めるところにより控除すべき金額及び本人から申し出があったときには、立替金、積立金等を控除して支給する。

(報酬等の日割り計算)

第7条 新たに常勤役員に就任した者には、その日から報酬を支給する。

- 2 常勤役員が退任し、又は解任された場合は、前日までの報酬を支給する。
- 3 月の中途における就任、退任、又は解任の場合の報酬額については、その月の総日数から日曜日及び土曜日の日数を差し引いた日数を基礎として日割りによって計算する。
- 4 第2項の規定にかかわらず、常勤役員が死亡によって退任した場合、その月までの報酬を支給する。

(端数の処理)

第8条 この規程により、計算金額に1円未満の端数が生じたときには、次のとおり端数処理を行う。

- (1) 50円未満の端数については、これを切り捨てる。
- (2) 50円以上1円未満の端数については、これを1円に切り上げる。

(改廃)

第9条 この規程の改廃は、評議員会の決議によって行う。

(補足)

第10条 この規程の実施に関し必要な事項は、理事長が理事会の承認を経て、別に定めるものとする。

附 則

この規程は、令和元年12月 1日から施行する。

この規程は、令和3年 9月15日より施行し、令和3年 7月 1日より適用する。

別表1 常勤役員報酬（第3条関係）

役職名	報酬の額
理事長	月額 1,350,000 円
副理事長、専務理事	月額 470,000 円
理事	月額 450,000 円

別表2 非常勤役員等の報酬（第4条関係）

## (1) 評議員

	日額
評議員会への出席	25,000 円
上記の他、法人及び施設業務のための出勤	25,000 円

## (2) 理事

	日額
理事会等会議への出席	25,000 円
上記の他、法人及び施設業務のための出勤	25,000 円

※月の支給額は、1人あたり250,000円を限度とする。

## (3) 監事

	日額
監事監査等への出席	25,000 円
理事会等会議への出席	25,000 円
上記の他、法人及び施設業務のための出勤	25,000 円

様式第1号（第2条関係）

役員等報酬辞退申出書

社会福祉法人きたはりま福社会役員等報酬規程第2条第2項の規定に基づき、役員等の報酬辞退の申出をします。

令和 年 月 日

氏 名

印

社会福祉法人きたはりま福社会  
理事長

様